

よろこびがつなぐ世界へ



キリンホールディングス



福井県立福井商業高等学校
群馬県立尾瀬高等学校



キリンホールディングスと福井商業高等学校・尾瀬高等学校の皆さん

2024年8月2日（金）、福井県立福井商業高等学校と群馬県立尾瀬高等学校の2校の生徒が高校生企業環境研修に参加。神奈川県横浜市鶴見区にあるキリンホールディングスのパッケージイノベーション研究所を視察し、企業の環境保全などの取り組みを学びました。



キリンの研究開発

キリンホールディングス パッケージイノベーション研究所

パッケージからイノベーションを起こす

パッケージはあらゆる商品に使われています。商品を手にとったとき最初に触れる部分であり、物流工程や店頭で衝撃や気温変化から商品の中身を守る重要な役割も担っています。一方で近年では、プラスチック容器による海洋汚染などパッケージを取り巻く社会課題も顕在化しています。パッケージに変革を起こすことで人々にあたらしい価値を提供するとともに、社会課題を解決する。それがパッケージイノベーション研究所のミッションです。



パッケージイノベーション研究所

～研修を終えて～ キリンホールディングスご担当者からのメッセージ

今回の研修での率直な感想

日頃購入いただいているキリングループ商品のパッケージに関する工夫や省資源化・リサイクルの取り組みをご説明し、ほんのわずかな材料使用量削減が、資源枯渇のセーブや温室効果ガスの削減に大きく寄与していることを理解いただきました。



パッケージの説明

今回、お客様の視点に最も近く、環境に対する意識の高い高校生の皆さんと意見交換ができて、我々の今後の容器やリサイクル技術の開発に生きるアイデアをいただけたこと、今後の高校生の皆さんの環境課題に対する取り組みのマインドをわずかながらでも高められたことは、今回の受け入れを通じて非常に光栄な機会を頂戴できたと感じています。

このような機会を増やして、キリングループならびに社会に貢献する研究所として、今後も広く活動していきたいと思っております。



講師
大久保 辰則さん

～研修を終えて～ 高校生の感想

福井県立福井商業高等学校

今回の研修で、普段何気なく利用しているペットボトルに多くの知恵が詰まっていることを知りました。中でもケミカルリサイクルという、使用済みペットボトルを化学の力で異物の混じっていないプラスチックの状態に戻し、再度ペットボトルに利用できるという方法には、みんなが驚いていました。つまり、私たちがペットボトルをリサイクルに回すことが、ペットボトルの原材料を提供することになるのです。多くの方にこのような時代が来たことを知って頂き、皆でペットボトルの回収率を100%に近づけていきたいと思いました。また仕事に取り組む姿勢も学ばせていただきました。



群馬県立尾瀬高等学校

今回の研修を通して、私たちの日常にあるペットボトルやパッケージの中に、私たちの生活に支障がないよう改善が進められているだけでなく、環境へ配慮した工夫や取り組みがさまざまに行われていることを知ることができました。また、ボトルの改良だけでなくゴミ箱の形や包装容器まで研究されていて、資源の循環について具体的な改善に取り組まれていることが印象的でした。知識としては持っていたリサイクルの流れが、自分の生活の中にイメージできるようになりました。また、研修の中で、他校の高校生や企業の方たちと話をしながら考えることができ、良い経験になりました。



キリンホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。



のんだあとはリサイクル。

